

見どころ案内

展示会のご案内

- ◇ 展示資料館 1F (9/22~12/25)
特別企画展「バオバブ展」
- ◇ 展示資料館 2F (9/29~30)
野生きのこ展
- ◇ 展示温室 (9/29~10/14)
サボテン展

ヒガンバナ (ヒガンバナ科)

日本庭園の前は他の場所より遅れて今週が見頃です。彼岸を代表する植物です。有毒なので食べてはいけません。

ハブソウ (マメ科)

お茶として有名ですが、収量の多いエビスグサをはぶ茶に用いることが多いようです。両者は葉の形で区別できます。

**熱帯
スイレン
温室
休館中**

パイナップル (パイナップル科)

実が松ぼっくり(パイナップル)に似て、りんごのような香りがするため、パイナップル+アップル=パイナップルと名付けられました。

アリストロキア ギガンティア (ウマノスズクサ科)

高さが数mになるツル性植物です。花には独特の香りがあり、その香りで虫をおびき寄せます。模様が美しいのですが、花びらに見えるのは萼(がく)です。

ハンギングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットがあり、リンドウ・セロシヤ・ジニアなどを使い、秋バージョンに美しく彩りました。
[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]

ハナセンナ (マメ科)

ハナセンナはアンデスの乙女とも呼ばれ、黄色い花が咲いています。葉には殺菌成分が含まれており、石鹸やシャンプーなどに使用されています。

ベニマンサク (マンサク科)

全国的にはマルバノキの名で知られています。分布が局所的であり、珍しい木です。廿日市市大野のベニマンサク群叢が広島県の天然記念物の指定を受けました。紅葉が始まりました。

ジュウガツザクラ (バラ科)

秋から春にかけて咲く八重咲きの桜です。マメザクラとエドヒガンの種間雑種と考えられています。江戸時代から栽培されている歴史の古い栽培品種です。

アオハダ (モチノキ科)

北海道~九州に分布する雌雄別株の落葉高木。県内では、ブナ帯でよく見られ、沿岸部での自生は稀です。公園などでよく見られるクロガネモチと同じ仲間です。近年では、庭木として用いられることもありますが、大きくなるので注意が必要です。また、果実はクマの好物です。

